

授業改善推進プラン 算 数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第一小学校

学年等	項目	内 容
令和3年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	○昨年度の到達度調査においてかけ算の正答率が92%であり、整数の構成の正答率が85%であり、数と計算領域で概ね80%を超えることができた。 ▲図・立式の正答率が36%であり、図形の構成要素の正答率が48%と他の項目と比べて低い。授業内で出来る限りテープ図や線分図を描かせたり、重点的に図形領域の復習に取り組んだりする必要がある。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・加減乗除の意味を理解した上で、問題場면을捉え演算決定する力。 ・知識及び技能を活用して、統合的に考える力。
	具体的な授業改善の方策	・演算決定の根拠となる図や数直線を用いる。 ・授業の導入で既習事項を振り返り、既習事項と本時の学習とつなげる。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠を持って自分の考えを伝え合う機会を設ける。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○12月実施の到達度調査では、小数や分数に関連する問題の正答率が80%を超えており、年間を通じて到達度が高かった。 ▲3桁×2桁の計算の正答率が31%、作図の正答率が31%と他項目と比べて低い。計算過程や作業工程が煩雑な学習内容に課題が見られる。
令和4年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	○今年度の1学期に実施した到達度調査において小数の仕組みの正答率が82%であり、変わり方調べの正答率が68%であり、数と計算領域で概ね80%を超えることができた。 ▲概数の正答率が36%で、小数のかけ算わり算の正答率が30%と他の項目と比べて低い。授業内で出来る限り計算問題に取り組ませ、習熟を図っていく必要がある。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・加減乗除の意味を理解した上で、問題場면을捉え演算決定する力。 ・知識及び技能を活用して、統合的に考える力。
	具体的な授業改善の方策	・演算決定の根拠となる図や数直線を用いる。 ・授業の導入で既習事項を振り返り、既習事項と本時の学習とつなげる。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合う機会を設ける。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○11月実施の到達度調査では、小数の仕組みに関連する問題の正答率が79%と高く、年間を通じて到達度が高かった。 ▲数読の正答率が35%、作図の正答率が34%と他項目と比べて低い。数の読み取りや作図の作業工程が煩雑な学習内容に課題が見られる。
令和5年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	○今年度の1学期に実施した全国学力学習状況調査においてD「データの活用」の領域の正答率が61.9%であり、A「数と計算」領域で概ね57%を超えることができた。 ▲B「図形」の正答率が36.1%で、昨年度と比べて低い。授業内で出来る限り作図の問題に取り組ませたり、図形の性質の理解の習熟を図っていく必要がある。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・図形の性質の意味を理解した上で、学習問題を捉え、正確に作図をする力。 ・知識及び技能を活用して、統合的に考える力。
	具体的な授業改善の方策	・図形の性質を視覚的に確認できるように、掲示物の充実を図る。 ・どの単元の授業の導入でも既習事項を振り返り、既習事項と本時の学習とつなげる。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合う機会を設ける。
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	

斤

々